
夏の空に対する考察

汁沢アンジー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の空に対する考察

【Nコード】

N8142V

【作者名】

汁沢アンジー

【あらすじ】

子供のときは、ごく自然だった出来事。時間と教育と常識という調味料が加えられた今でも色褪せないものは、真実だと思うんだ。

「紙飛行機を作ったときの話なんだ」

僕は、公園の芝生に腰を下ろした。

彼女は、芝生に直接腰を下ろすのを躊躇った。革製のシヨルダーバッグから講義で使う資料集を取り出して、その上で体育座りをした。

「紙飛行機なら私も作ったことあるわよ」

兄が二人いたから男の子の遊びは得意だったのよ、そう付け加えた。

「夏休みに親と温泉街に行ったときなんだ」

僕は話の続きをしていいのか迷ったが、二人の間に雲のような沈黙が流れたので、そつと話し始めた。

「あれは、確か小学五年生くらいだったと思う」

僕たち家族は、夏休みに小旅行に行くのが恒例になっていた。

その年は、父親が仕事で腰を痛めたこともあって、温泉でのんびりするという計画だった。

「なんか不思議な街だったんだよ」

彼女のほうを見ると、彼女はメンソール煙草に火を点けているところだった。

「あ、煙草吸わないんだっけ？」

「うん」

「それで、その街はどう不思議だったわけ？」

僕は座り直して、空を眺めた。

「まず、空がゆらゆらしているかんじがしたんだ」

「まあ、暑いからね。陽炎」

彼女も空を眺めていた。

「陽炎とは明らかに違うんだ。空が波つぽいっていうのかな」

そして、街全体もピントが合わないような魚眼レンズで覗いてい

るような違和感があった。モノクロの写真の中にあるような気分でもあった。

「君って、小学生のときからドラッグをやっていたわけ？」

「誤解を生む言い方は撤回してくれるかな？」

彼女は少し笑った。

「それで、そんな不思議な街で何があったわけ？ あ、そろそろ私、バイトに行かなくちゃ」

「そうそう、紙飛行機だよ」

温泉街に泊まって二日目の夜だった。

僕は、昼間にホテルの隣にある空き地で虫捕りをする楽しみを見いだしていた。

空き地には、蜻蛉が飛び、バッタやカマキリが潜んでいた。

どうしてだか理由は、わからなかったが、僕は突然思いついたのだった。

「深夜、紙飛行機を作って空き地で飛ばそう」

親が寝静まったのを確認した僕は、浴衣姿のまま紙飛行機を持って部屋を出た。

紙飛行機は、父親が読み終わった新聞紙であらかじめ作っていた。

熱帯夜で寝苦しかった部屋とは違って、外は石のようにひんやりとしていた。辿り着いた空き地は、さらに温度が低く感じられた。

僕は新聞紙で作った紙飛行機を眺めた。

紙を二重にして厚みを増し、手のひらサイズにまとめて飛びやすい工夫をしていた。

僕は、空き地の端に立った。ちょうど街灯が照らされて視界が良好だった。

そして、紙飛行機を全身全霊の力を込めて飛ばした。

あまりに力を込めすぎたせいで、重心がずれて前のめりになった。紙飛行機は予想していたよりも、ゆっくりと低空飛行していった。そのとき。

紙飛行機が蝶に変わって、夜空にヒラヒラと飛んでいったのだっ
た。

「新聞紙柄の蝶？」

彼女は、よほど驚いたのか、バイトに遅刻してしまうのか、芝生
の上で立ち上がっていた。

「僕は、とても驚いたんだけど、すぐにこう考えたんだ。昼に蝶は
見るけど夜に蝶は見ない。きっと、蝶は夜になると紙に変形するん
だ、ってね」

彼女の大きな瞳が、さらに大きくなっていた。

「だから、夜に思い切り紙を投げると蝶になるんだ」

「ねえ」

彼女が言った。

「あの、昨日の夜さ、私、新聞紙柄の蝶を見たのよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8142v/>

夏の空に対する考察

2011年10月9日15時04分発行